

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年02月22日

計画の名称	北九州市における憩いと賑わいに資する緑と公園づくりの推進												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	北九州市, 福岡県												
計画の目標	<p>本市は市街地を一望できる皿倉山や市内最大の響灘緑地、および世界文化遺産に指定された「官営八幡製鐵所旧日本事務所」や小倉城など、豊かな自然や歴史・文化的観光資源を有している。</p> <p>このような資源を活かし、さらなる魅力向上のため、地域のシンボルや観光拠点としての整備・再整備を行う。</p> <p>また、超高齢・少子化社会の到来を踏まえ、市民と協働で子育て世代の利用促進や高齢者の健康増進に資するような既存公園の再整備を進めるとともに、安心して緑豊かな環境首都を感じられる住宅地の公園整備や緑の保全を行う。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,344	A	1,325	B	0	C	19	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	1.41	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	公園整備による緑の創出や保全面積を2.0ha増加 公園・緑地の整備・保全の面積	0ha	ha	2ha
2	公園整備による近隣観光施設や公園の利用者数を過去3年間（H24～H26）の平均以上とする 帆柱公園や響灘緑地等での公園利用者数	600000人	人	600000人
3	市民との協働による子育て世代の利用促進や高齢者の健康増進に資するような公園づくり（小学校区単位）を、現状の26校区から34校区に増加 校区全体の公園を対象に地域と協働で再整備計画を策定し、整備した小学校区数	26校区	30校区	36校区
4	公園利用者の利便性向上に資する公募対象公園施設（便益施設）における施設利用者数を年間10万人とする。 公募対象公園施設（便益施設）における施設利用者数	0人	人	100000人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	都市公園事業（帆柱公園）	展望デッキ、園路広場整備及び駐車場整備	北九州市		■	■	■	■	457	—	
	A12-002	公園	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	都市公園事業（響灘緑地）	未開設区域等の整備（約3.2ha）	北九州市		■	■	■	■	266	—	
	A12-003	公園	一般	北九州市	間接	北九州市	—	—	P-PP1事業（勝山公園）	公園施設の設置、施設周辺の広場整備	北九州市			■			13	—	
	A12-004	公園	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	北九州市吸収源対策公園緑地事業	園路・広場、植栽等の整備	北九州市	■	■	■	■		344	—	
	A12-005	公園	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	北九州市緑地保全等事業	土地の買取（2.1ha、1地区）	北九州市	■	■	■	■	■	0	—	
	A12-006	公園	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	北九州市都市公園ストック再編事業	北九州市都市公園ストック再編事業	北九州市				■	■	245	—	
	北九州市における憩いと賑わいに資する緑と公園づくりの推進																		
											小計						1,325		

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況								
												H27	H28	H29	H30	H31											
一体的に実施することにより期待される効果																											
備考																											
											合計							1,325									

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	C12-001	公園	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	公園整備基本計画策定事業	ワークショップを開催して基本計画を作成	北九州市	■	■	■			19		—	
		基幹事業（A-5）の効果促進事業として、市民との協働によるワークショップを開催し（年4回程度）、子育て支援や健康づくりなど公園の計画づくりを行い、公園緑地の整備に反映させるもの。																		
																		19		
											合計						19			

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
円滑化地籍整備事業	D17-001	地籍整備	一般	福岡県	間接	北九州市	—	—	北九州市 社会資本整備 円滑化地籍整備事業	面積 1.35km ²	北九州市			■	■	■	0	—		
		基幹事業（A-6）に先行して、土地の権利関係を明確にすることにより、事業の円滑な実施を図る。																		
											小計						0			
											合計						0			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

<p>事後評価の実施体制</p> <p>【実施体制】北九州市建設局公園緑地部緑政課が事後評価を実施 【評価値の確認方法】学識経験者に意見聴取を実施 (元九州大学大学院農学研究院 薛准教授、九州工業大学院工学研究院 須藤助教)</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>令和3年度</p> <hr/> <p>公表の方法</p> <p>北九州市ホームページに掲載</p>
--	---

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>身近な公園や地域のシンボル、観光拠点となる公園について、整備の実施により魅力が向上したことで利用の促進を図ることができた。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	

○特記事項（今後の方針等）

次期社会資本総合整備計画においても、引き続き地域のシンボル、観光拠点となる公園整備や市民と協働による身近な公園の再整備を行うこととしている。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	特別緑地保全地区の買入れ面積	
	最終目標値	2ha
	最終実績値	2ha
2	公園利用者数	
	最終目標値	600000人
	最終実績値	725130人
3	校区全体の公園を対象に地域と協働で再整備計画を策定し、整備した小学校区数	
	最終目標値	36校区
	最終実績値	37校区
4	公募対象公園施設（便益施設）における施設利用者数	
	最終目標値	100000人
	最終実績値	122637人